

## 細胞の観察と大きさの測定

年 組	No	氏名	
-----	----	----	--

### 1 ね ら い

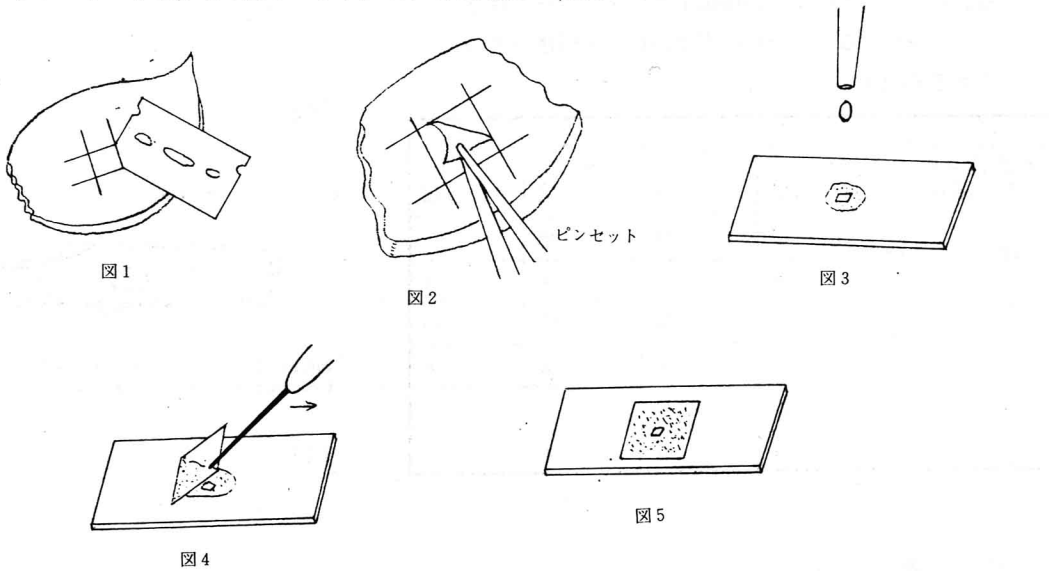
生物体をつくっている細胞の構造を観察し、その大きさをはかってみる。

### 2 準 備

タマネギ、顕微鏡、スライドガラス、カバーガラス、ピンセット、柄つき針、酢酸カーミン液、カミソリ、スポイト、ろ紙、接眼マイクロメーター、対物マイクロメーター

### 3 方 法

- (1) タマネギのリン片の内側に、カミソリで5mm平方ぐらいの浅い切れ目を入れ(図1)、これをうすくはがす(図2)。はがした表皮をスライドガラスにとり、水を1滴落としてカバーガラスをかけ、プレパラートを作る(図3~5)。これを顕微鏡で観察する。



- (2) 顕微鏡での観察は、まず低倍率で行い、順次、高倍率で行うようにする。対物レンズとプレパラートのカバーガラスの間の距離は、おおよそ図6のようになる。

- (3) 染色した細胞で、核を観察する。

はがしてスライドガラス上にとった表皮に、酢酸カーミン液を1滴落としてしばらくおく。カバーガラスをかけて観察すると、核が赤く染まって見える。

- (4) 観察した細胞を(1)、(3)ともにスケッチする。スケッチは、顕微鏡の視野にとらわれず、数個の細胞をできるだけ大きく、正確に書く。

